

高槻に、戦国時代の近畿を制した武将の居城があった。

芥川山城 (三好山)



摂津峡公園の西、三好山には人工的に土木加工し城を築いた跡が残っています。この芥川山城は1515年室町幕府No.2(管領)細川高国が能勢氏に築かせました。その後、**戦国武将三好長慶(みよしながよし)**が將軍の足利義晴や管領の細川晴元を京都から追放し、1553年にこの芥川山城に入り、この地から近畿の勢力圏に政治を行いました。

長慶は1560年に飯盛山城に移りますが、その後も息子の義興が芥川山城に入り、信長が登場するまで近畿の中心地であり続けました。
また、岐阜から京都に上洛した**織田信長もこの芥川山城に入り、2週間ほど滞在しました。**
城跡には建物は残っていませんが、石垣や曲輪、土塁、土橋などが残っています。山上からは高槻市街も一望できます。



山中に残る石垣は夢の跡か・・・

歴史に消された「近畿の覇者」三好長慶とは？

三好長慶は1522年徳島県で生まれました。元服後も父の敵でもある主君、細川晴元に耐えて仕えつつ、3人の弟や優秀な部下と結束し勢力を拡大させていきます。28歳の時についに晴元を破り、義輝と晴元を京都から追放し、近畿で自ら、「理世安民」(道理をもって世の中を治め、民を安心させる)を掲げ、徳のある政治を行いました。その勢力圏は徳島県、香川県、大阪府のほか、兵庫県、京都府の主要部分、(のちに奈良県も)と広大なものでした。幕府を要しない政治体制は織田信長による新秩序にも影響を与えたと思われませんが、現代では信長だけが脚光を浴び、長慶とその業績が歴史から消されてしまっています。



三好長慶像 (南宗寺蔵)

三好芥川城の会 会員募集中！

三好氏と芥川山城にご興味を持った方、「三好芥川城の会」に入りませんか？
月1回、第4土曜日14時30分～16時30分 高槻駅南口グリーンプラザ3号館地下1階「キャッツY」で会合をしています。会には歴史に詳しい方はもちろん、そうでない方もあつまって三好長慶や高槻の歴史、社会問題などの話をしています。

年会費：1000円、定例会合費1000円(飲み物・デザート付き)
問い合わせは会長：大和(やまと)まで 電話：090-8883-9810

■芥川山城への行き方■

芥川山城は私有地です。訪問する時はマナーを守りましょう。



※城郭図は簡略化しています。

芥川山城と一緒に寄りたいスポット

山水館

芥川山城の対岸で癒される温泉旅館

摂津峡桜公園

桜の花見ができる公園
子供と遊べる設備もある

芥川漁協

芥川でアユやマス釣りを楽しむための釣り券を販売

美人湯祥風苑

塚脇バス停近くの日帰り温泉施設

もみじ谷

摂津峡随一の紅葉スポット

宮谷釣り堀

仮設橋の脇にある釣り堀

摂津峡青少年キャンプ場

テント、ロッジ、ログハウスなどの設備あり

白滝

摂津峡北側にある滝

あくあびあ

芥川の水生物の展示
夏季は隣接のプールも営業

キッチンスヌーグ

芥川山城の麓の森の中で食べるイタリアン

萩谷総合運動公園

多目的広場には子供と遊べる設備が充実

三好の里バーベキューガーデン

芥川山城の麓で、手ぶらでバーベキューを楽しめる場所